

令和4年度茨城支部保険者機能強化予算(案)について

1. 令和4年度 支部保険者機能強化予算の設定額について

【令和4年度 茨城支部予算（案）】

	予算区分	分野（経費名）	令和4年度 茨城支部予算（案）	令和4年度 茨城支部予算枠	経費の取扱い
支部 保険者 機能 強化 予算	支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	2,566千円	15,224千円	【予算枠の算出基準】 協会けんぽ全体予算8億円を 全支部一律に定額部分600 万円を設定したうえで、残りを 加入者数で按分し加算
		広報・意見発信経費	12,635千円		
		合計	15,201千円		
	支部保健事業予算	健診経費	37,990千円	71,111千円	【予算枠の算出基準】 協会けんぽ全体予算40億円を 各支部の40歳以上の加入者 数で按分
		保健指導経費	7,421千円		
		重症化予防事業経費	9,014千円		
		コラボヘルス事業経費	10,994千円		
		その他の経費	4,773千円		
		合計	70,192千円		

2. 支部保険者機能強化予算策定にあたっての考え方

【基本方針】

- 令和3年度は令和2年度事業の実績等を踏まえ事業に取り組んでいる段階である。
新型コロナの影響で、コロナ禍前の手法等がそのまま活用しにくい場面があり、新たな状況の下での事業運営について試行錯誤している部分もあるが、協会けんぽとして取り組むべき方向性は変わらないため、基本的には前年度を踏襲し、第5期アクションプランを踏まえて重点的に予算配分する事業、縮小する事業を個別に検討する。

【茨城支部の課題】

- 「インセンティブ5項目」は、保険料率の低減だけを目的としているのではなく、加入者の健康増進、医療費の適正化という協会けんぽの使命を果たすための重要項目であるという認識に基づき、「インセンティブ5項目」をいかに高めていくことができるかが全支部共通の課題である。茨城支部は、実施率においてほとんどの項目で全国平均を下回っており、全項目について取組みを強化していく必要がある。
- 第2期データヘルス計画においては、茨城支部の健康課題として、「他支部と比較して特にメタボリックリスク保有割合が高い」ため、この対策についても重点的に取り組む必要がある。

No	課題
①	特定健診等の受診率
②	特定保健指導の実施率
③	特定保健指導対象者の減少率
④	医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率
⑤	後発医薬品の使用割合
⑥	コラボヘルスの推進

《予算の重点配分に対する考え方》

茨城支部では、左記の課題に対処するため、地域の特性を踏まえた上で、加入者の行動変容を効果的に促すことができる施策に重点配分する。

3. 令和4年度 茨城支部保険者機能強化予算（案）

【支部医療費適正化予算】

※課題Noは、2ページ記載の課題に対する施策

事業名		課題No	令和4年度 茨城支部予算	令和3年度 茨城支部予算	備考	
医療費適正化対策	企画部門関係	お薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品の使用促進	⑤	2,035千円	2,035千円	ジェネリック希望を記載したお薬手帳カバーを作成し、薬局を通じて配布。
		医療機関向け情報提供	⑤	531千円	251千円	医療機関向け情報提供の一部外部委託（年2回予定）
	小計			2,566千円	2,286千円	
広報・意見発信経費	紙媒体による広報		-	1,635千円	3,311千円	納告チラシや協会事業案内、セミナー資料等の作成。
	その他の広報	各種メディアを活用した広報	-	1,804千円	1,804千円	新聞、経済団体広報誌、フリーペーパー等のメディアを活用し、広告を掲載。
		ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報強化事業	⑤	4,922千円	3,547千円	Webやポスター、新聞等のメディアや鉄道広告を活用した広報を実施。
		乳幼児向け適切な医療のかかり方啓発事業	⑤	2,734千円	2,734千円	出産育児一時金給付世帯に乳幼児向けの上手な医療のかかり方リーフレットを配布。
		適正受診リーフレット等配布	-	1,540千円	1,540千円	正しい医療のかかり方を普及啓発し適正な医療機関受診を促す
小計			12,635千円	12,935千円		
合計			15,201千円	15,221千円		

4. 令和4年度 茨城支部保険者機能強化予算（案）【支部保健事業予算】

事業名		課題 No	令和4年度 茨城支部予算	令和3年度 茨城支部予算	備考
健診経費	健診未受診者（漏れ者）健診	①	2,112千円	2,112千円	特定健診未受診者に対し、市町村ごとの健診案内を送付し、健診受診勧奨を実施
	協会単独の集団健診実施【新規】	①	4,053千円	-	被扶養者の健診受診機会の拡大を図るため、協会単独の集団健診を実施
	事業者健診結果データ取得	①	9,390千円	8,580千円	受診率の低い事業所に対し生活習慣病予防健診の受診、又は事業所健診データの提出を勧奨
	被扶養者の健診結果データ取得	①	96千円	726千円	特定健診未受診とされている被扶養者の人間ドッグ等の健診結果データ取得
	健診推進経費	①	7,527千円	7,527千円	健診機関への報奨金 （健診実施件数の目標超過分）
	健診受診勧奨（職員、健診機関）	①	215千円	189千円	職員による事業所訪問と健診機関への委託による受診勧奨
	特定健診デビュー年齢対象者への受診勧奨	①	495千円	495千円	特定健診デビュー年齢対象者へサービスを利用して健診受診を意識付け
	健診・保健指導の受診率向上に向けた漫画リーフレット	①②	2,370千円	1,518千円	加入者にわかりやすい漫画による受診勧奨リーフレット作成
	生活習慣病予防健診予約状況照会サービス【新規】	①	264千円	-	生活習慣病予防状況照会サービス運営における費用
	生活習慣病予防健診受診案内の追加実施【新規】	①	1,029千円	-	未受診者がいる事業所を対象に、年度内2回目の健診案内を送付し、健診受診勧奨を実施
	「健診受け方ガイド」（特定健診実施機関一覧）の作成【新規】	①	517千円	-	特定健診受診券に同封している一覧の作成
	ラジオ・新聞広告	①② ③④	8,000千円	8,000千円	健診、保健指導に関するラジオCMと新聞広告記事掲載
	ラッピングバス広告	①	1,752千円	787千円	生活習慣病予防健診受診勧奨のための広告
新規適用事業所用制度案内リーフレット作成	①	170千円	170千円	新規適用事業所に送付する制度案内リーフレット作成	
小計			37,990千円	30,104千円	

5. 令和4年度 茨城支部保険者機能強化予算（案）【支部保健事業予算】

事業名		課題 No	令和4年度 茨城支部予算	令和3年度 茨城支部予算	備考
保健指導経費	中間評価時の血液検査費	②③	1,950千円	1,950千円	保健指導対象者の中間評価時に血液検査を実施
	旅費、医師謝金、パンフレット作成、図書購入等の事務経費	-	1,408千円	1,001千円	保健指導の必要経費
	保健指導推進経費	②③	4,063千円	4,063千円	個人向けの保健指導等案内の実施、保健指導実施機関への報奨金
小計			7,421千円	7,014千円	
重症化予防経費	未治療者受診勧奨	④	6,002千円	6,002千円	未治療者に対して受診勧奨文書発送と電話勧奨実施
	重症化予防（糖尿病性腎症）	④	3,012千円	3,012千円	糖尿病性腎症に関するかかりつけ医との連携事業
小計			9,014千円	9,014千円	
コラボヘルス事業経費	健康経営推進のための広報	⑥	1,250千円	2,799千円	健康経営普及促進、宣言事業所拡大に向けた広報物の作成、配布。
	健康経営ワークショップ	⑥	735千円	735千円	健康経営の定着に向け、体験型の研修会でノウハウを共有
	健康経営推進のための講師派遣	⑥	3,426千円	6,176千円	宣言事業所のインセンティブとして健康に関する出前健康講座の講師を派遣
	健康測定機器貸出	⑥	4,840千円	4,356千円	宣言事業所のインセンティブとして健康測定機器を貸出
	健康経営セミナー	⑤⑥	303千円	303千円	健康経営セミナー（茨城県と共催）開催費用
	禁煙啓発リーフレット	⑥	440千円	440千円	禁煙の意識啓発、禁煙治療の案内
小計			10,994千円	14,809千円	

6. 令和4年度 茨城支部保険者機能強化予算（案）【支部保健事業予算】

事業名		課題 No	令和4年度 茨城支部予算	令和3年度 茨城支部予算	備考
その他の経費	健康イベント参加	—	517千円	517千円	各種健康イベントに参加し、健康づくりの呼びかけと協会事業を周知
	スマホ用健康アプリを活用した健康づくり事業の推進	③⑥	110千円	110千円	県と連携し、「元気アップ！りいばらき」を活用した健康づくりを推進
	感染症予防対策事業	—	0円	3,014千円	新型コロナウイルス感染症等の予防啓発による感染症対策
	動画による保健事業広報	①② ③④	2,090千円	2,090千円	Youtube広告、デジタルサイネージ、Web広告等の広告動画展開
	メタボ予備群に対する流入阻止	③	2,035千円	2,035千円	メタボ予備群へ注意喚起を実施（イラスト等の分かり易い解説）
	特定健診未受診理由調査	①	0円	2,374千円	特定健診の未受診要因をアンケート調査。受診率向上施策の基礎データとする。
	保健事業アドバイザー経費	—	21千円	21千円	データヘルス計画アドバイザーに関する経費
小計			4,773千円	10,161千円	
合計			70,192千円	71,102千円	

※ 端数処理の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

【参考】令和3年度 支部保険者機能強化予算について

【令和3年度 茨城支部予算】

予算区分	分野（経費名）	令和3年度 予算	令和3年度 予算執行状況	執行率	主な執行事業 （執行中含む）
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	2,286千円	1,619千円	70.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●紙媒体による広報（納告チラシ・広報誌等） ●Youtube広告 ●ジェネリック医薬品使用促進 広報 ●新聞広告 ●お薬手帳カバー配布（ジェネリック希望記載） ●若年層向けジェネリック医薬品使用促進
	広報・意見発信経費	12,935千円	8,208千円	63.5%	
	合計	15,221千円			
支部保健事業予算	健診経費	30,104千円	5,718千円	19.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●ラジオCM ●メタボ予備群に対するメタボ流入阻止 ●未治療者受診勧奨 ●健康経営リーフレット作成 ●スマホ用健康アプリチラシ作成 ●ラッピングバス広告
	保健指導経費	7,014千円	882千円	12.6%	
	重症化予防事業経費	9,014千円	—		
	コラボヘルス事業経費	14,809千円	1,967千円	13.3%	
	その他の経費	10,161千円	3,778千円	37.2%	
	合計	71,102千円			

【参考】支部保険者機能強化予算のスケジュール

